

2009年HYCレーティング計算式

2008年11月25日

HYCレース委員会

TCFは一般には艇の性能を基準に定められているが、当クラブのTCFは艇と乗員の技能の総合成果であるレースに要した時間をもとに算出している。

レース毎の各艇の所要時間と基準艇の所要時間とを比較し、基準艇のTCF x 所要時間 = 各艇のTCF x 所要時間 となるTCFをレガッタ毎に計算する。過去6ガッタの各艇のTCFの平均値を小数点以下4桁まで求め、次回レガッタのTCFとする。

従って、基準艇となること及び自艇のTCFが高くなることは、艇のチューニング及び乗員の技能向上の証しであり名誉なことと理解願いたい。

基準艇

年間を通じ、高いセーリング技術を示し、最多ファーストホームをとり、且つレース参加数が多い艇をTCF計算の基準艇とする。

2009年は2008年に引き続き「牛若丸」とする。

レース結果のTCF換算

○レガッタ結果の各艇のTCFn

$$TCFn = \text{基準艇TCF} \times \text{基準艇所要時間} / \text{所要時間 } n$$

○DNF艇のTCFn

そのレガッタで適用されたTCFをレガッタ結果のTCFnとする。

次にレガッタに参加するまでこのTCFnを変更せず、レガッタ結果のTCFとする

○リタイア艇、不参加艇および本部艇のレガッタ結果TCFn

そのレガッタに参加していれば適用されていた筈のTCFをレガッタ結果のTCFnとする。

次にレガッタに参加するまでこのTCFnを変更せず、レガッタ結果のTCFとする。

次回レガッタのTCF

○次回レガッタの各艇TCFnav

$$TCFnav = \sum n \text{ (過去6レガッタ結果のTCFn合計)} / 6$$

○初参加艇及び実績の無い艇の TCF

1 回限りの TCF をレース委員会が与える。

但し、そのレガッタの表彰の対象とするが、年間成績の対象とはしない。

レース結果から次回の TCF が付与される。

以上